

◎「若竹町」の由来

若竹のようにすくすくと伸びて、発展していくように、と名付けられました。以前は竹林が連なり、タケノコの産地として有名でした。現在、竹林はほとんどなくなりましたが、宅地の開発で新しいまちとして発展しています。



宅地開発前の若竹町周辺

川と共に歩んだまちを歩いてみよう!



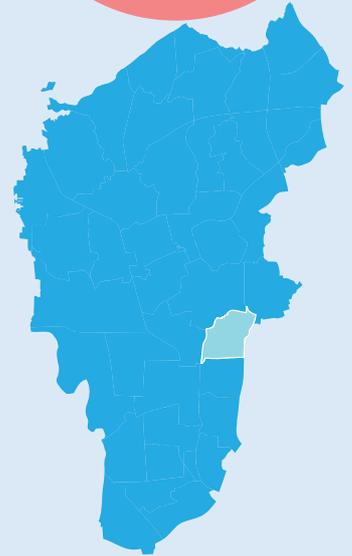
マチカネくんと歩く

# まちある記

第36回

自然と歴史のまち  
北条町から若竹町へ

北条小学校区



## 川の氾濫を防いだ松並木

### ② 高川の松並木(北条町)

荒地でもよく育ち、その根が堤防を強化することから高川沿いには松が植えられています。現在の松は、昭和9年の室戸台風の後植え直されたものです。



ウォーキングやジョギングをしている人も通ります

## 道の上を川が通る

### ① 高川トンネル(北条町4丁目)

正式には高川水路橋といいます。川の氾濫のたびに堤防を高くしていったので、周辺より川底が高い天井川となっており、トンネルの入り口から川は見えません。昭和6年(1931)までは、この高さを登って川を越えていました。この道路を西に進んだところにある天竺川も天井川です。



東西には川と松並木、北には服部緑地があり、自然に囲まれています。また、古墳時代の遺跡が発見されるなど歴史の古いまちでもあります。

若竹町

3

2

高川

小曾根

1

## のどかな風景の北条町

### 4 北条のサギ

北条小学校が開校した昭和50年頃まで周囲は田んぼでした。サギが優雅に舞う姿が見られたことから、同校の校章には白いサギが大空を飛翔する姿が描かれています。



北条小学校校章



昭和31年ごろの同校周辺

## 波に乗るウサギ

### 3 住吉神社(若竹町1丁目)

住吉神社ではウサギを神の使いとしており、元文元年(1736)のものとするウサギの瓦が保管されています。また、境内には親子の狛犬が合計4体あり、市内ではとても珍しいそうです。



他にも異なる姿勢の瓦が2つあります

### ◎北条村の取水

井戸水を一般的に使っていた昭和15年頃まで、飲料水の配管設備がありました。天竺川の東側に元となる井戸を掘り、今の小曾根交差点辺りまでパイプで水を供給していました。パイプに青竹、継目に生松材、水もれ止めに綿を利用していたそうです。

## みんなで守るクジラ公園

### 5 北条公園 (北条町3丁目)

大きなクジラの遊具が迎えてくれます。クジラの大きな口と高い尻尾は、それぞれ滑り台。

「自分たちのまちは自分たちで美しく」との思いから、小曾根保育所(現在の小曾根こども園)の園児がデザインしたイラストを、平成18年(2006)に第十六中学校(北条町)の生徒とPTAの皆さんが描き、平成25年にもきれいに塗り直しました。



### ◎小曾根遺跡

昭和63年に弥生・平安・室町時代の集落跡や、古墳時代の草壁が見つかりました。古墳時代の建物は土壁が多かったため、細い木とカヤでできた草壁が確認されたことは大きな発見となりました。この遺跡の発見により北条町、浜、小曾根に広がっていた集落の暮らしが分かりました。



見事な松並木が川沿いにきれいにあります



天竺川

中池

若竹池

北条小学校前

4 北条小学校

第十六中学校

5

北条町

豊中吹田線